

外国語活動

第5学年における活動で配慮することは何か。

外国語を初めて学習することに配慮し、児童に身近で基本的な表現を使いながら、外国語に慣れ親しむ活動や児童の日常生活や学校生活にかかわる活動を中心に、友達とのかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動を行うようにすること。



★ 友達や家族、地域、社会とのつながりに焦点を当てた活動を行う。



例 「あいさつ」、「自己紹介」、「買物」、「学校生活」、「遊び」、「日常生活」、「食事」など



★ 自分や身近な話題に関してのやり取りを通して、友達とのかかわりを深めていくねらいがある。



※ 外国語を初めて学習することに配慮しつつ、児童にとって過度の負担にならないように指導していく必要があるが、第5学年という発達の段階を考慮しながら、活動が単調にならないようにも注意したい。